



13 代会長 丸茂 吉成

日米エアフォース友好協会創設 30 周年、誠におめでとうございます。
本年 5 月まで第 13 代会長を務めた丸茂吉成です。

日米エアフォース友好協会は、冷戦終結後、日米同盟の重要性の希薄化が感じられた平成 8 年 5 月に「日米両軍の強い紐帯が安全保障上不可欠であると信じる航空自衛隊 OB 有志が中心となり、(中略) 在日米軍を激励、士気を鼓舞し、両軍の信頼関係の深化を図り、米国民の我が国に対する信頼感の向上を願い、現役諸君を強力にバックアップしてゆく」ために組織されたものです。

それから 30 年が経過し、本年 3 月時点での会員数は、415 名、うち正会員が 242 名と承知しています。その活動は多岐にわたり、日米共同訓練における参加隊員への激励では、時代を反映して、インドやオーストラリアを含む日米共同訓練や、被害復旧を想定した施設分野での訓練への激励も行っています。

日米優秀隊員の表彰行事では、被表彰者を年次総会に招待し、功績の紹介を行っています。また、米国土官候補生の日本留学時における文化研修「日光研修」等の実施、各米空軍基地で行われる障害を持つ方々を対象に行われるスペシャルオリンピック支援、多摩ヒルズ G C での日米親善ゴルフ大会を始め多くの行事を行ってきました。



Everyone is smiling and happy to see each other again

時の情勢や政権による多少の浮き沈みはあるものの、現在、そして将来の我が国の安全と繁栄を確保するうえで、日米同盟が不可欠です。創設当時の先輩方の先見の明と、これまで30年にわたり活動が続けてきた会員皆様の努力と現在もその努力を継承し、発展させている役員、関係者の献身的な尽力に深く感謝と敬意を表します。大輪の花は、日々の手入れなくしては花開かず。同盟関係の強化は、園芸に例えられるごとく、根気強い継続努力の結果といえます。

JAAGAの活動が続ける中で、継続性から生まれる人と人の結びつきの強さ、その強さが同盟に裨益する効果の甚大さに気付かされました。昨年の訪米の機会には、JAAGA創設当時の在日米軍司令官兼第5空軍司令官（以下、「元司令官」）であるラルフ・エバハート退役大將からご自宅招待を含む大歓待を受けしました。自宅の各所に飾られた日本を象徴する品々の多さからも日本愛を痛感しました。現役当時から一貫して日本、そして航空自衛隊を支援してこられたことは米軍の中でも広く知られています。他にもワシントンDCでお会いした、ブルース・ライト元司令官は、在職当時に航空総隊司令部の横田移転構想について、将来を見据えて、吉田航空幕僚長と膝詰めの議論をし、今日の横田基地における日米共同の礎を築かれました。バートン・フィールド元司令官は、近年におけるわが国最大の危機である東日本大震災に際し、「友だち作戦」を指揮し、日米同盟の絆の強さを実証したばかりか、多くの国民に同盟の重要性を示されました。第5空軍副司令官として勤務をしたジョン・レイモンド退役大將は、初代米宇宙軍作戦部長（司令官）として、航空自衛隊の宇宙部隊創設と発展を協力に後押しされました。現太平洋空軍司令官であるケビン・シュナイダー元司令官は、長い日本勤務を通じ、日本のよき理解者として不安定なアジア情勢に対処されています。JAAGAは、勿論、先に述べた元司令官のみならず多くの在日米軍関係者との交流や活動を通じて、真に魂の通い合う友としての関係を築き上げ、日米同盟の強化に寄与してきたもの確信します。紛うことなく、30年の活動の上に、現在の同盟関係が成り立っています。今後、この巨人の肩の上に立ち、更なる高みへと発展することでしょう。

また、第5空軍司令官＝在日米軍司令官という幸甚にも恵まれ、米国内では在日米軍勤務者としての枠組みの活動も展開されています。更なる高みのみならず、空軍種間にとらわれない広がりという発展も見せています。航空自衛隊

が今後、航空宇宙自衛隊へと拡大してゆくことにより、宇宙分野でも一層の拡大が期待されます。

JAAGA は、米軍を支援するために組織された組織です。しかし、その活動は、人と人のつながりにより、良き日本理解者を得ることで、結果的に航空自衛隊、日米同盟に大きな力をもたらしているのです。これまでの、そして今日の JAAGA の活動が、50 年後、100 年後に大樹の根となり、幹となり、嵐にもるがない日米同盟へと続くことを祈念いたします。



Ret GEN Schwartz



Gen Wilsbach receives a plaque of
HONORARY MEMBER from President
Marumo



Lt Gen Kosinski receives a plaque of
HONORARY MEMBER from President
Marumo



GEN Schneider (center)